Operation Guide 3064

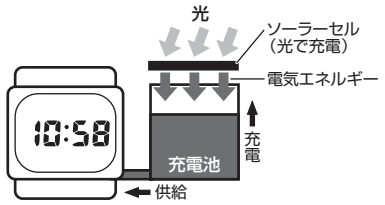
CASIO

十分に光を当ててご使用ください

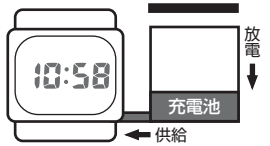
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

1. 光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



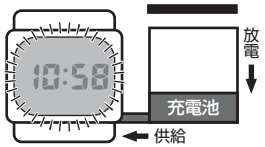
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電池の容量が減って機能が使えなくなります。

2. ライト（表示用照明）をたくさん使うと

●ライトを多用すると充電池の容量は早く減ります。



ライト点灯１回分の電力を回復するには、以下の光を当てて充電する必要があります。

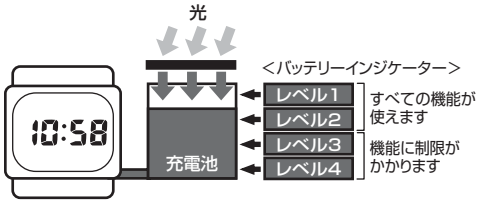
●晴れの日の窓際＝約５分

●蛍光灯下の室内＝約 50 分

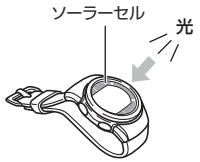
オートライト機能を使うと、頻繁にライトが点灯する状態になりますのでご注意ください。

3. 時計に光が当たるようにしましょう

●電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル３になると機能に制限がかかりますので、レベル１、レベル２を保つように光を当ててください。

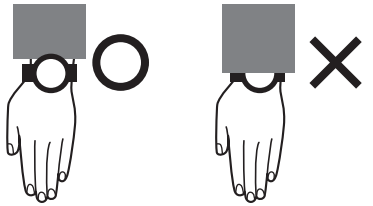


●腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

●腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかからないように使用してください。

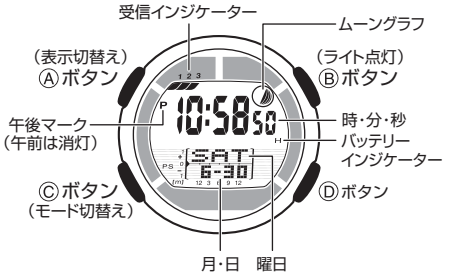


一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※タイド／ムーングラフモード、アラームモードで２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

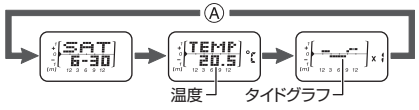
時刻モード



※ムーングラフについては、「ムーングラフ（月の形）を見る」をご覧ください。
※バッテリーインジケーターの見方については、「バッテリーインジケーターの見方」をご覧ください。
※受信インジケーターの見方については、「受信インジケーター」をご覧ください。
※グラフィック表示は、秒に連動して点灯／消灯します。

★表示切替えについて

Ⓐボタンを押すごとに、表示内容が切り替わります。



※温度の調整については、「セットのしかた」をご覧ください。
※タイドグラフについては、「タイドグラフを見る」をご覧ください。

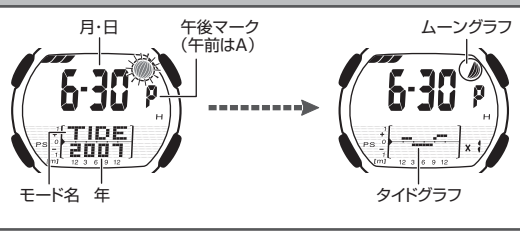
★温度計測について

温度表示に切り替えると、約2分毎に温度計測を行ないます。
※外気温を計測するときは、時計を腕からはずして、体温、汗（水滴）、直射日光などの影響を受けないようにしてください。
※実際の外気温と時計自体の温度が同じになるまでに、20～30分程度かかります。

※アラームモードから時刻モードに切り替わるとき、エリア名（「エリアー覧」参照）が表示されてから、曜日・月・日が表示されます。

Ⓒ

タイド／ムーングラフモード



Ⓒ

タイマーモード



Ⓒ

ストップウオッチモード



Ⓒ

ワールドタイムモード



Ⓒ

アラームモード



Ⓒ

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル5)、メモリーされているデータや設定は消去されます。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- EL バックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- タイマーのタイムアップ予告・タイムアップ報音
- 温度計測
- 電波受信

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●バッテリーインジケーターの見方

レベル1	H	すべての機能が使用可能
レベル2	M	すべての機能が使用可能
レベル3	L Low	EL点灯不可、アラームなどの報音不可、温度計測不可、電波受信不可
レベル4	CHG	液晶表示不可、EL点灯不可、アラームなどの報音不可、温度計測不可、電波受信不可
レベル5		時計機能停止（時計発振不可）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。
※レベル５になっても再度充電を行なうことで使用できます。
※レベル５から充電したときは、レベル４になると表示が点滅します。ただし、この状態では機能が使用できませんので、レベル２またはレベル１になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

●充電必要サイン

レベル３や４の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。
また、頻繁にリカバーマークが点灯する場合も電池残量が少なくなっていますので光を当てて充電してください。

●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

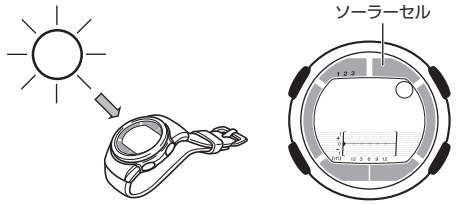
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。

例）時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作*に加え、下記の使用例で使用した場合に約8ヵ月動き続けます。

使用例
- ライト：1.5 秒間／日
- アラーム：10秒
- 電波受信：10 分／日
- 表示点灯：18 時間／日

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

* 基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

〈1日動くのに必要な充電時間〉
※左記の条件で使用した場合

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル5⇒レベル4⇒レベル3⇒レベル2⇒レベル1		
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約2時間	約18時間	約8時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約6時間	約91時間	約41時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約10時間	約184時間	約83時間
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約126時間	–––	–––

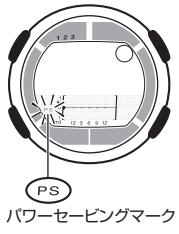
※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。
本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」を ON に設定してあります。
※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

- 表示スリープ
  午後 10 時～午前６時の間、暗いところで本機を約１時間放置します。
  ※ タイマーモードとストップウオッチモードのときは、スリープ状態になりません。
  ➡液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。
  アラーム・時報の報音、タイマーのタイムアップ予告・タイムアップ報音は行ないます。



- 機能スリープ
  表示スリープのまま暗いところで6～7日間経過します。
  ➡パワーセービングマークが点滅から点灯にかわります。
  アラーム・時報の報音、タイマーのタイムアップ予告・タイムアップ報音は行ないません。
  自動受信も行ないません。
  ※ 時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト（「ライトを点灯させる」）のように傾けたりします。
※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大２秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能の ON ／ OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには「セットのしかた」をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

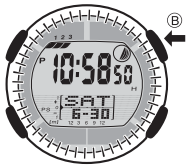
ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、暗いときに時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。
※各モードのセット状態のときは、ライトは点灯しません。

■ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

どのモードのときでも

Ⓑボタンを押します



➡Ⓑボタンを押すとライトが点灯します。
※点灯時間は約1.5秒間と約2.5秒間のいずれかを選ぶことができます（「ライト点灯時間の切替え」参照）。

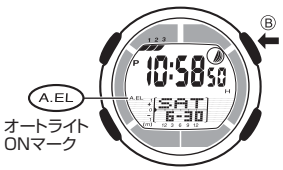
※オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけでライトが点灯する便利なフルオートライト機能です。
※明るいときは、自動点灯しません。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間または約2.5秒間点灯します。

準備：セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを約3秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑボタンを約3秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉
- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 手動受信中は、ライトは点灯しません。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉
- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 潮汐データ読み込み中は、オートライトは動作しません。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約2.5秒間のみとなります。
- バッテリーインジケーターがレベル4になると、自動的にオートライトOFFになります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します



➡都市コードと時差が点滅します。
※セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「時刻設定のセット状態」にする

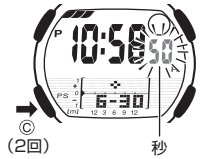
Ⓐボタンを2回押します



➡「DST」が表示されます。

3. 「秒」を点滅させる

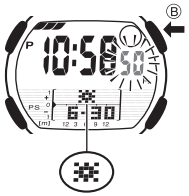
Ⓒボタンを2回押します



➡「秒」が点滅します。

4. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します



➡Ⓑボタンを押すごとに約1.5秒間と約2.5秒間が切り替わります。
※ ✥ マーク＝約1.5秒間
✲ マーク＝約2.5秒間

5. セットを終わる

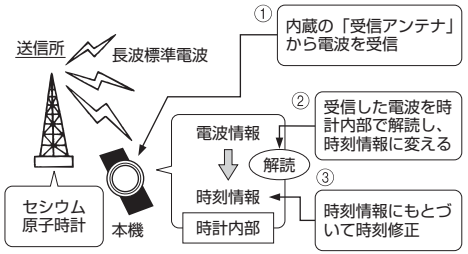
Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループが運用しております。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。
詳しい情報は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページをご覧ください。
http://jjy.nict.go.jp

※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

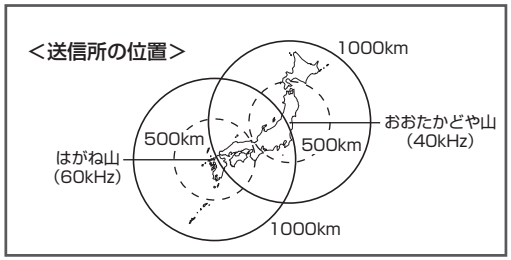
■ 電波の受信範囲の目安

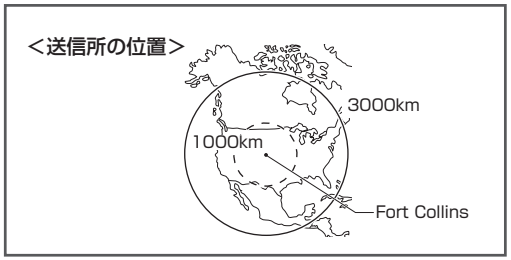
本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）。

* ホームタイム都市の設定については「セットのしかた」参照。都市コードについては「時差一覧」参照。

ホームタイム都市	受信電波
HKG、OSA、TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
HNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

※HKG、HNL、ANCは、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合もあります。





● 受信環境により、図の範囲内でも電波を受信できない場合があります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、受信環境の影響はより大きくなります。

※受信に影響を与える環境・・・地形、建物、天気、季節、時間帯（昼・夜）、各種ノイズ

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。


ビルの中およびその周辺
（ビルの谷間など）


高圧線、架線の近く


乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）


家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）


電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそばなど）


山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。

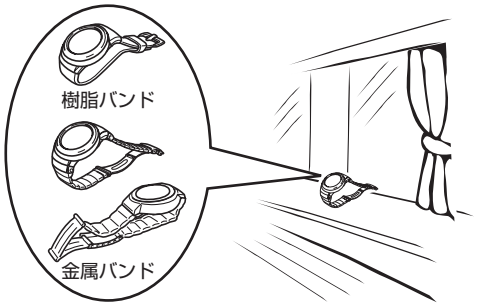
1 自動受信（午前12･1･2･3･4･5時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※受信が一度成功した場合は、その日の自動受信は行ないません。

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～５分です。

※ただし、周波数を変えて再受信するため、最大12分かかる場合があります。

* 自動受信ON／OFFの設定については「自動受信ON／OFFの設定」参照。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓓボタンを約2秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は受信インジケーターが変化します。

★受信を中止するときは

Ⓓ ボタンを押します

※受信中は Ⓓ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。

※受信インジケーター（「受信インジケーター」参照）が１から３まで点灯します（受信インジケーターは、毎日午前０時に消えます）。

※修正日時表示後は、Ⓓ ボタンを押すか、２～３分間何も操作を行なわないと時刻モードの表示に戻ります。

★受信が失敗すると（ERR 表示）

時刻修正は行なわれず、“ERR”を表示します。

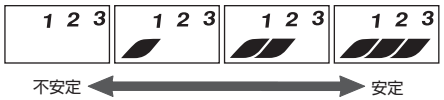
※“ERR”表示後は、Ⓓ ボタンを押すか、２～３分間何も操作を行なわないと時刻モードの表示に戻ります。

CASIO

●受信インジケーター

受信中は受信状態によって受信インジケーターが変化します。安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

●受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※一度も受信に成功しなかったときは、"--:--"を表示します。
※時刻モードに戻すには、もう一度Ⓓボタンを押します。
※2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



■自動受信 ON／OFF の設定

自動受信の ON／OFF を切り替えることができます。
※自動受信の設定は、ホームタイム都市設定が HKG、OSA、TYO、HNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYC のとき、行なうことができます。

1. 受信日時を表示させる

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡受信日時を表示します。
※ 2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

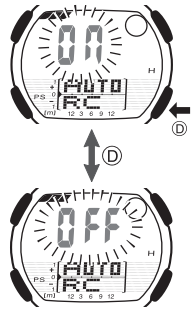
➡ON または OFF が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. セットする

Ⓓ ボタンを押します

➡ON と OFF が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、受信日時表示に戻ります。
※ 時刻モードに戻すには、Ⓓ ボタンを押します。



★ホームタイム都市が HKG、OSA、TYO の場合

● ON 自動受信はONになり、「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
● OFF 自動受信は OFF になります。

★ホームタイム都市がHNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYCの場合

● ON 自動受信はONになり、コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。
● OFF 自動受信は OFF になります。

※HKG、HNL、ANCは、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合もあります。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
●以下のときは、電波受信を行ないません。
・タイマー計測中のとき。
・バッテリーレベルが３または４のとき。
・リカバーマーク（RECOV）が点灯しているとき。
●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。
●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。
●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
●本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

1. 電波が受信できないのですが？

●電波の送信が中断していませんか。
電波時計が利用している標準電波（JJY）は、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）により運営されておりますが、保守作業や雷対策等で一時的に送信が中断されることがあります。
●電波が受信できない地域にいませんか。
電波受信ができる地域は、「電波の受信範囲の目安」をご覧ください。
●電波受信環境が悪い場所にいませんか。
電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行なってください（「使用場所について」参照）。
●ホームタイム都市が間違って設定されていませんか。
ホームタイム都市の設定が HKG、OSA、TYO、HNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYC 以外の場合は、電波受信を行ないません。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。
●自動受信設定が OFF になっていませんか。
「自動受信 ON／OFF の設定」をご覧になり、自動受信設定を ON に設定してください。
●自動受信を行なう時間帯（午前12・1・2・3・4・5時）に、時刻モードまたはワールドタイムモード以外になっていませんでしたか。
自動受信は時刻モードまたはワールドタイムモードでしか行なわれませんので、自動受信時間帯は他のモードに切り替えないでください。

2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれるのですが？

●電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないますが、時計内部の演算処理等により若干（1秒未満）のずれが発生します。

3. 電波を受信したのに、時刻がちょうど1時間進んでいるのですが？

●サマータイムの設定が ON になっていませんか。
「セットのしかた」をご覧になり、サマータイムの設定を OFF または AUTO にしてください。

4. 電波を受信したのに、時刻が合っていないのですが？

●ホームタイム都市が間違って設定されていませんか。
「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

5. 自動受信 ON／OFF の設定ができないのですが？

● ホームタイム都市の設定が HKG、OSA、TYO、HNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYC 以外の場合は、自動受信 ON／OFF の設定を行なうことができません。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

6. 自動受信は何時頃行なわれるのですか？

● 自動受信は電波状況の良い夜間に行なわれます。夜間にお休みのときは、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

7. 手動受信のしかたは？

● 時刻モードのときに Ⓓ ボタン（右下）を約２秒間押し続けます。“ピッ”と確認音が鳴って手動受信が開始されますので、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

8. 受信日時の確認のしかたは？

● 時刻モードのときに Ⓓ ボタン（右下）を１回押します。電波受信が成功して、時刻修正された日時が表示されます。時刻モードに戻すには、もう一度 Ⓓ ボタンを１回押します。

★電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。

※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	On	自動受信する
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	AUTO	電波受信による自動切替え

タイド／ムーングラフの見方

タイドグラフやムーングラフ（月の形）表示などは、場所により表示される値が異なります。ご使用の前にあらかじめ使用する場所のデータ（ホームタイム都市・エリア）をセットしてください。

●使用場所のセットは、一度行なえば再びセットする必要はありません。ただし、二次電池が消耗したときや引っ越し、旅行などで大きく移動したときは、その場所に合わせてセットしなおしてください。
●本機は工場出荷時は「ホームタイム都市＝東京（時差＋9.0）、エリア＝芝浦」にセットされております。

■使用場所のセット

使用場所のセットは時刻モードで行ないます。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡「都市コード（時差）」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、「都市コード（時差）」表示と「エリア」表示が切り替わります。



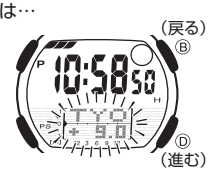
都市コード（時差） ⇔ Ⓒ ⇔ エリア

3. 都市コード（時差）、エリアを選ぶ

★都市コード（時差）を選ぶときは…

Ⓑ または Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓑボタンまたは Ⓓボタンを押して、セットしたい都市コード（時差）を選びます。



※ Ⓑ・Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ 時差に連動して、時刻が切り替わります。

★エリアを選ぶときは…

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押して、セットしたいエリアを選びます。

※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りができます。



* ホームタイム都市をセットするときは右の「時差一覧」を、エリアをセットするときは、「エリア一覧」を参照してください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを３回押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■時差一覧

都市コード	時差	都市名	都市コード	時差	都市名
PPG	–11	パゴパゴ	JED	+3	ジェッダ
HNL	–10	ホノルル	THR	+3.5	テヘラン
ANC	–9	アンカレジ	DXB	+4	ドバイ
LAX	–8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	–7	デンバー	DEL	+5.5	デリー
CHI	–6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
NYC	–5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	–4	カラカス	BKK	+7	バンコク
RIO	–3	リオデジャネイロ	HKG	+8	ホンコン（香港）
–01	–1		OSA	+9	大阪
LON	+00	ロンドン	TYO	+9	東京
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン
JRS	+2	エルサレム	TBU	+13	ヌクアロファ

※この表は 2006 年 6 月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

■ エリア一覧

都市コード	エリア		都市コード	エリア		都市コード	エリア		都市コード	エリア	
TYO	SHIBAURA	芝浦	TYO	MAISAKA	舞阪	TYO	OARAI	大洗	OSA	MUROTOZAKI	室戸崎
	OSHIMA	大島		AKABANE	赤羽根		KASHIMA	鹿島		MUROTSU	室津
	KOZU SHIMA	神津島		NAGOYA	名古屋		CHOSHIGYOKO	銚子		KOCHI	高知
	HACHIJO JIMA	八丈島		HAMAJIMA	浜島		KAZUSAKATSUURA	勝浦		TOSASHIMIZU	土佐清水
	CHICHI JIMA	父島		ABASHIRI	網走		KAMOGAWA	鴨川		TSUYAZAKI	津屋崎
	YOKOHAMA	横浜		RUMOI	留萌		TATEYAMA	館山		HAKATA	博多
	YOKOSUKA	横須賀		OTARU	小樽	OSA	OSAKA	大阪		KARATSU	唐津
	ZUSHI	逗子		HAKODATE	函館		KOBE	神戸		SASEBO	佐世保
	ENOSHIMA	江ノ島		MURORAN	室蘭		AKASHI	明石		MATSUSHIMA	松島
	MANAZURU	真鶴		TOMAKOMAI	苫小牧		TSUIYAMA	津居山		KUMAMOTO	熊本
	NIIGATA	新潟		KUSHIRO	釧路		URAGAMI	浦神		TOMIOKA	富岡
	TERADOMARI	寺泊		AOMORI	青森		TANABE	田辺		NISHIOITA	西大分
	KASHIWAZAKI	柏崎		HACHINOHE	八戸		WAKAYAMA	和歌山		HOSOSHIMA	細島
	NAOETSU	直江津		KUJI	久慈		TAJIRI	田後		MIYAZAKI	宮崎
	OGI	小木		KAMAISHI	釜石		TONOURA	外ノ浦		ABURATSU	油津
	TOYAMA	富山		KESENNUMA	気仙沼		KURE	呉		SHIBUSHI	志布志
	TAKI	滝		SENDAI	仙台		UBE	宇部		KAGOSHIMA	鹿児島
	KANAZAWA	金沢		NOSHIRO	能代		SHIMONOSEKI	下関		MAKURAZAKI	枕崎
	HUKUI	福井		OGA	男鹿		YUYA	油谷		AKUNE	阿久根
	WADA	和田		AKITA	秋田		HAGI	萩		NISHINOOMOTE	西之表
	ITO	伊東		SAKATA	酒田		HIWASA	日和佐		NAZE	名瀬
	SHIMODA	下田		NEZUGASEKI	鼠ヶ関		TAKAMATSU	高松		NAHA	那覇
	SHIMIZU	清水		SOMA	相馬		NIIHAMA	新居浜		HIRARA	平良
	SAGARA	相良		YOTSUKURA	いわき		UWAJIMA	宇和島		ISHIGAKI	石垣
	OMAEZAKI	御前崎		HITACHI	日立		KANNOURA	甲浦		MAIZURU	舞鶴

都市コード	エリア		都市コード	エリア		都市コード	エリア	
PPG	PAGO PAGO	AMERICAN SAMOA	LON	CASABLANCA	MOROCCO	BKK	MUI VUNG TAU	VIET NAM
	APIA	SAMOA		LISBON	PORTUGAL	HKG	ESPERANCE	AUSTRALIA
	WELLES HARBOUR	USA	PAR	DUNKERQUE	FRANCE		SANDAKAN	SABAH
HNL	MASSACRE BAY	ALEUTIAN ISLANDS	BER	VENEZIA	ITALY		HONG KONG	CHINA
	PAPEETE	TAHITI		NARVIK	NORWAY		MANADO	SULAWESI
	HONOLULU	USA	ATH	ALEXANDRIA	EGYPT		MELAKA	MALYSIA
ANC	CORDOVA	USA	CAI	NISOS LEROS	GREECE		CEBU	PHILIPPINES
	PORT CLARENCE	USA	JRS	CAPE TOWN	SOUTH AFRICA		TANJONG PAGAR	SINGAPORE
	JUNEAU	USA	JED	SHATT AL ARAB	IRAQ	ADL	PORT ADELAIDE	AUSTRALIA
LAX	VANCOUVER	CANADA		TOAMASINA	MADAGASCAR		WALLARDO	AUSTRALIA
	SAN DIEGO	USA		JEDDAH	SAUDI ARABIA		WHYALLA	AUSTRALIA
	SANTA MONICA	USA	THR	BANDAR-E LENGEH	IRAN		PORT LINCOLN	AUSTRALIA
DEN	WINTER HARBOUR	CANADA		KHOWR-E MUSA	IRAN		DARWIN	AUSTRALIA
	BAHIA MAGDALENA	MEXICO		KHARK	IRAN		GOVE	AUSTRALIA
	CABO SAN LUCAS	MEXICO	DXB	SULTAN QABOOS	OMAN	SYD	BRISBANE	AUSTRALIA
CHI	ACAPULCO	MEXICO		DUBAI	ARAB		SYDNEY	AUSTRALIA
	LA UNION	EL SALVADOR		MINA JEBEL ALI	ARAB		MELBOURNE	AUSTRALIA
	GALVESTON	USA	KHI	MALE	MALDIVES		YAP ISLAND	CAROLINE ISLANDS
	PUERTO LIMON	COSTA RICA		KARACHI	PAKISTAN		PORT MORESBY	PAPUA NEW GUINEA
NYC	POINTE-AU-PERE	CANADA		GWADAR	PAKISTAN		GUAM	USA
	PUERTO CHICAMA	PERU	DEL	MUMBAI	INDIA	NOU	NOUMEA	NEW CALEDONIA
	MIAMI HARBOR	USA		CHENNAI	INDIA		CHOISEUL BAY	SOLOMON ISLANDS
	BUENAVENTURA	PANAMA		COCHIN	INDIA		PORT VILA	VANUATU
CCS	BRIDGETOWN	BARBADOS	DAC	CHITTAGONG	BANGLADESH	WLG	SUVA HARBOUR	FIJI ISLANDS
	HALIFAX	CANADA		COXS BAZAR	BANGLADESH		KWAJALEIN ATOLL	MARSHALL ISLANDS
	IQUIQUE	CHILE		COLOMBO	SRI LANKA		AUCKLAND	NEW ZEALAND
	SANTO DOMINGO	DOMINICAN R.	RGN	ELEPHANT POINT	BURMA		WEST PORT	NEW ZEALAND
RIO	BUENOS AIRES	ARGENTINA		BASSEIN RIVER	BURMA		LYTTELTON	NEW ZEALAND
	RIO DE JANEIRO	BRAZIL		YANGON	MYANMAR		FUNAFUTI	TUVALU
	F.DE NORONHA	BRAZIL	BKK	CHRISTMAS IS.	INDIAN OCEAN ISLANDS	TBU	NUKUALOFA	TONGA
−01	S.VICENTE	CAPE VERDE		LANGSA BAY	SUMATERA		NEIAFU	TONGA
	SANTA CRUZ	AZORES		SURABAYA	INDONESIA		PANGAI	TONGA
	PONTA DELGADA	AZORES		PHUKET	THAILAND			
LON	PLYMOUTH	ENGLAND		BANGKOK BAR	THAILAND			

■ ムーングラフ（月の形）を見る

●現在のムーングラフを見る

時刻モードやタイド／ムーングラフモードで表示されます。
※セット中（表示が点滅中）は除く。

<例:時刻モード>



ムーングラフが示す月の形は、黒く点灯している部分が「月の影」で、点灯していない部分が「月の形＝見える形」です。



●月の形と月齢

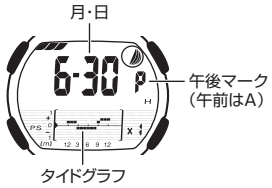
月の形	新　月				上　弦				満　月				下　弦			
月　齢	0.0 ～1.8	1.9 ～3.6	3.7 ～5.5	5.6 ～7.3	7.4 ～9.2	9.3 ～11.0	11.1 ～12.9	13.0 ～14.7	14.8 ～16.6	16.7 ～18.4	18.5 ～20.3	20.4 ～22.1	22.2 ～24.0	24.1 ～25.8	25.9 ～27.7	27.8 ～29.4
表　示																

●月の形は表示日の「正午」において、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのおおよその形です。
※月の左右どちらかが欠けているかのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。
なお、南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます。
●月の形は、時刻・カレンダーおよび使用場所を正しくセットしておかないと正しく表示されませんのでご注意ください。

■ タイドグラフを見る

●現在のタイドグラフを見る

時刻モードまたはタイド／ムーングラフモードのとき、グラフ部分に表示されます。
※時刻モードでは Ⓐ ボタンを押して、グラフ表示に切り替えることができます。
※データ読み込みのため、グラフが表示されるまで約 40 秒ほどかかることがあります。
※本機のタイドグラフ表示は下図のように時刻に対する潮の変動を表します。

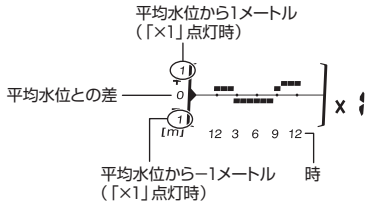


ご注意

本機で表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。本機のタイドグラフ表示は、あくまで潮の満ち干きの様子を見る“目安”としてお使いください。

●タイドグラフについて

平均水位に対しての水位の差を上下で表しています。



※「×2」が点灯しているときは、グラフの数値を２倍にしてご覧ください。
※「×3」が点灯しているときは、グラフの数値を３倍にしてご覧ください。
※平均水位との差が３メートルを超える時間帯はグラフが表示されません。

■好きな日のタイドグラフ／ムーングラフを見る

時刻モードから Ⓒ ボタンを押して、タイド／ムーングラフモードに切り替えます。

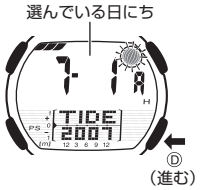
A. 1日ずつ送って選ぶ

1. 日にちを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡約40秒後、タイドグラフとムーングラフが表示されます。

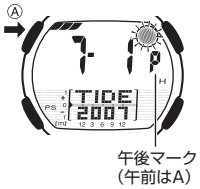
※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りができます。



2. 午前／午後を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、午前（A）／午後（P）が切り替わります。



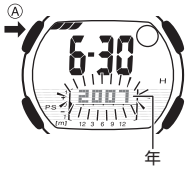
B. 日にちを指定して選ぶ

1. 日にちセット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡ 年が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

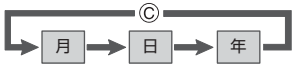


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。
セットしたい箇所を点滅させます。



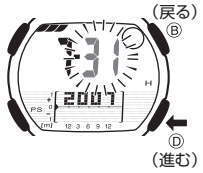


3. セットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに1日ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ·Ⓑボタンとも、押し続けると早送りができます。



Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を点滅させ、Ⓓ または Ⓑボタンで表示をセットする操作を繰り返し行ない、年・月・日を合わせます。

4. セット状態を解除する

Ⓐ ボタンを押します

➡約40秒後、セットされた日のタイドグラフとムーングラフが表示されます。



5. 午前／午後を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、午前（A）／午後（P）が切り替わります。



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界32都市（30タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■ご注意■

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

*セットについては「セットのしかた」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。

※Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

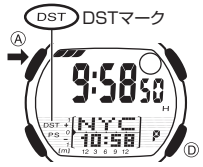
■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡Ⓐ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。



※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	–11	パゴパゴ	JED	+3	ジェッダ
HNL	–10	ホノルル	THR	+3.5	テヘラン
ANC	–9	アンカレジ	DXB	+4	ドバイ
LAX	–8	ロサンゼルス	KBL	+4.5	カブール
DEN	–7	デンバー	KHI	+5	カラチ
CHI	–6	シカゴ	DEL	+5.5	デリー
NYC	–5	ニューヨーク	DAC	+6	ダッカ
CCS	–4	カラカス	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	–3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
–01	–1		HKG	+8	ホンコン（香港）
–02	–2		OSA	+9	大阪
LON	+0	ロンドン	TYO	+9	東京
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン
JRS	+2	エルサレム	TBU	+13	ヌクアロファ

※この表は2006年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい©ボタンを押し、タイマーモードに切り替えます。

タイマー時間は分単位で60分まで（リセット時間は１分から５分まで）セットすることができ、１秒単位で減算計測を行ないます。
また、本機ではリセット時間から計測を簡単にやり直すこともできます。

■ タイマーの種類

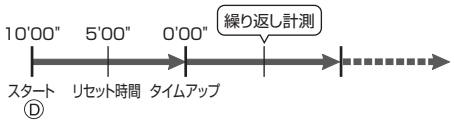
本機のタイマーは2種類あり、以下のように計測を行ないます。本機はヨットやサーフィンの競技に使用すると大変便利です。

●オートリピートタイマー

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

※繰り返し計測は合計８回行なうと、自動的に計測がストップします。

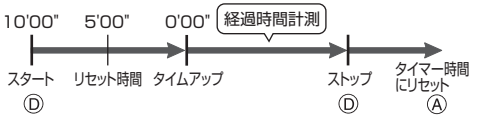
例）タイマー時間＝10分、リセット時間＝５分



●リピートタイマー（経過時間自動計測）

タイムアップすると自動的に経過時間計測を行ないます。

例）タイマー時間＝10分、リセット時間＝５分



★予告音について
リセット時間の10秒前から１秒ごとに電子音が鳴ります。リセット時間を経過すると、１分ごとに電子音が鳴ります。タイムアップの30秒前に電子音が鳴ります。

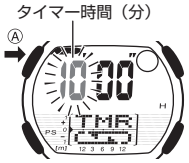
★タイムアップ音について
タイムアップの10秒前から１秒ごとに電子音が鳴ります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡タイマー時間の「分」が点滅します。



※計測ストップ状態およびリセット時間からは、セット状態に切り替わりません。このようなときは、Ⓐボタンを押してタイマー時間にリセットしてから、Ⓐボタンを約2秒間押すとセット状態になります。

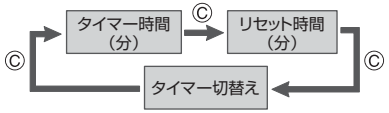
※セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. セット箇所を選ぶ

© ボタンを押します

➡© ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。





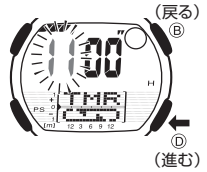
3. 点滅箇所のセット

★「タイマー時間」「リセット時間」セットのときは…

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



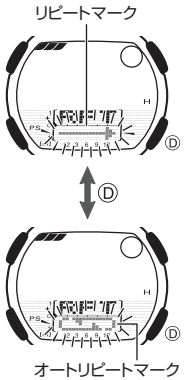
※タイマー時間は１分（1'00"）～60分（60'00"）までセットできます。

※リセット時間は１分（1'00"）～５分（5'00"）までセットできます。リセット時間はタイマー時間を超えてセットすることはできません。

★「タイマー切替え」のときは…

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにオートリピートタイマーとリピートタイマーが切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

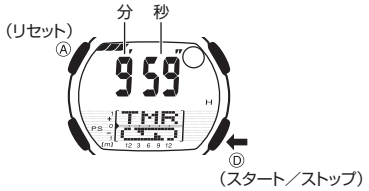
➡点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



- 計測ストップ後Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（タイマー時間にリセット）。
- ロスタイムがあるときは、Ⓓボタンでストップ後、もう一度Ⓓボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。
- 計測中にⒶボタンを押すと、リセット時間を表示して計測がストップします。その後、Ⓓボタンを押すと、リセット時間から計測を再開します。
- リセット時間表示状態でⒶボタンを押すと、タイマー時間にリセットされます。
- 予告音が鳴っているときはボタン操作はできません。
- リピートタイマーで、経過時間計測中にⒹボタンを押すと、計測がストップします。ストップ後Ⓐボタンを押すと、タイマー時間表示に戻ります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい © ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で99時間59分59秒99（100時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に０に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPL" 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が０に戻ります（リセット）。

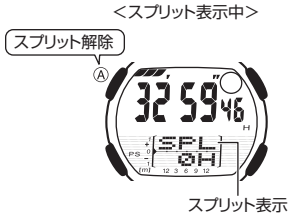
●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

アラーム・時報の使い方

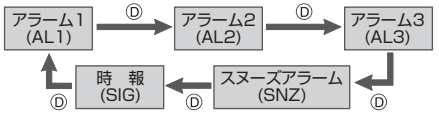
「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラーム・時報について

●通常アラーム（AL1 ～ AL3）
設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）
設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

●時報
毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。



■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

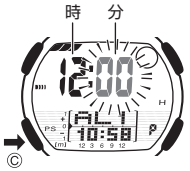


※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

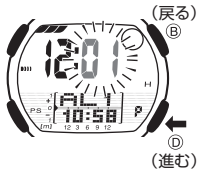


4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームのON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

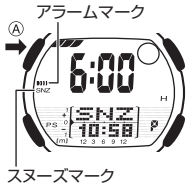
➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



<スヌーズアラーム表示>



■ 電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

※スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
- ●スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- ●スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- ●時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■ 時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

※パワーセービング機能のON／OFF設定も以下の操作で行ないます。

■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡ 都市コードと時差が点滅します。

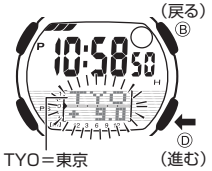
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。



*「時差一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ Ⓒ ボタンを押すと“AREA”が点滅して、タイド／ムーングラフのエリアを選ぶことができます。

*「使用場所のセット」参照。

3. 「基本設定のセット状態」にする

Ⓐ ボタンを押します



4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下のように点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



温度調整 ⇔(Ⓒ) パワーセービング設定

5. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

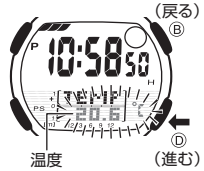
➡Ⓓ または Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「温度調整」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとに0.1℃ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに0.1℃ずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると早送りします。

※調整できる範囲は、表示している温度に対して、－9.9℃から+9.9℃までとなります。



本機の温度計は、工場出荷時に調整してありますので、本来温度の調整を行なう必要はありません。正確な温度計があって、その温度に対して本機の表示が大きくずれている場合にのみ上記の操作にしたがい温度を調整してください。この温度調整を誤って使用しますと、温度計測が正しく行なえなくなりますのでご注意ください。

b.「パワーセービング設定」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとにパワーセービング機能のON／OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能をONにすると、パワーセービングマークが点灯します。



6. 「時刻設定のセット状態」にする

Ⓐ ボタンを押します

➡「DST」が表示されます。

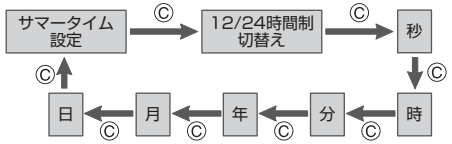


7. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





8. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「サマータイム設定」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



● AUTO ホームタイム都市が受信機能対応都市の場合は、自動判別となり、受信したサマータイム情報に合わせてON/OFFを切り替えます。 受信機能対応都市とは、HKG、OSA、TYO、HNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYCです。 ※HKG、HNL、ANCは、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合もあります。
● OFF サマータイムはOFFになります（通常時間）。
● ON サマータイムはONになります（夏時間）。 ※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

※ホームタイム都市がHKG、OSA、TYO、HNL、ANC、LAX、DEN、CHI、NYC以外のときは、「OFF」⇔「ON」で表示が切り替わります。

b.「12/24時間制切替え」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



c.「秒」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

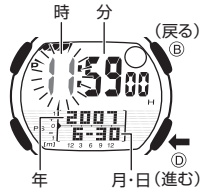
※秒が点滅しているときにⒷボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます（「ライト点灯時間の切替え」参照）。



d.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒹまたはⒷボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

9. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。